

令和7年（2025年）9月定例議会本会議（9月19日）

都市整備常任委員長報告

ただいま議題となりました「公共交通の在り方に関する政策提言」の検証について、都市整備常任委員会における調査の経過と結果を報告します。

本政策提言は、政策検討会議における課題別検討会議として位置付けられた「公共交通の在り方検討協議会」において協議を行い、令和5年2月に市長へ提言を行いました。

課題別検討会議で協議を行った政策提言については、政策立案後に検証を行うものとしており、本委員会では、まず6月4日会議を開き、所管事務調査として政策提言を受けた内容に関する取組状況及び課題について報告を受け、質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、コミュニティバス事業における利用料金体系や広告料収入の導入などに係る事業者との検討状況、新規コミュニティバス事業立ち上げ要望があった場合の市の支援体制、既存バス事業者の運転手不足及びその影響による減便に対する支援の必要性、三笠循環バス運行における三笠公園リニューアル工事による影響の有無、自動運転技術の現状や今後に向けた展望、地域の

公共交通に関する相談件数についてであります。

また、質疑の後、政策提言の検証結果としての本委員会の対応等について委員間で協議を行いました。

次に、これらの質疑及び協議を踏まえ、9月4日会議を開き、事前に各会派から提出された所管部局への意見・要望事項などに基づき、本委員会の対応等について委員間でさらに協議を行いました。

協議においては、各部局の取組の進捗とその効果を引き続き注視していくという意見に加え、本市の公共交通を取り巻く現状を鑑みて希望意見を付したいという提案もありました。

その結果、政策提言への取組状況に対する本委員会の意見として、以下のとおり3点について要望を行うこと及びこれをもって調査を終了することと決定しました。

- 1 新技術の活用について、自動運転技術の進捗は著しいものがあるので、今後とも情報収集に努められたい。
- 2 コミュニティバス事業について、利用料金の在り方や広告料収入の導入に関する検討を行うなど、持続可能な運用に向けて事業者と協力、連携されたい。
- 3 公共交通の維持のため、交通事業者と協議の上で近年課題とな

っている運転手不足の解消に向けた支援策を講じられたい。

以上で報告を終わります。